平成２４年度　第１１回富里市教育委員会定例会議会議録

富里市教育委員会

１　期　　日	平成２４年１２月２５日（火） 開会　午後２時２分 閉会　午後４時５分	
２　場　　所	本庁舎３階第３会議室	
３　出席委員	委員長	河田厚子
	委員長職務代理者	武井勝彦
	委員	佐々木浩二
	委員	森田惠子
	教育長	國本與一
４　出席職員	教育次長	小野祐一郎
	教育総務課長	髙須利幸
	学校教育課長	滝口次郎
	生涯学習課長	中嶋保雄
	学校給食センター所長	大木正吾
	図書館長	加茂博美
５　事務局職員	教育総務課副主幹	中澤一志

平成２５年１月２９日

１　委員長開会宣言

委員長　平成２４年度第１１回富里市教育委員会定例会議を開会する。

２　前回会議録の承認

平成２４年度第１０回定例会議会議録承認（署名人：森田委員，國本教育長）

３　教育長報告

・１１月３０日から１２月２０日まで１２月定例議会が開催され，無事に終了した。一般質問等の内容については，配布資料のとおりである。

・１２月１４日と１５日に東京大学を会場に開催された全国市区町村教育長セミナーに参加した。主催は兵庫教育大学で，新谷元教育長が主催者の一人であった。全国から３３名が参加し，千葉県からは，私と浦安市の教育長が参加した。全般的に刺激を受ける内容であったが，教育委員制度改革についての説明に興味を持った。１２月２０日に同様の記事が掲載されたので，参考にしていただきたい。記事によれば，（１）教育委員会を残し，首長との連携を深める，（２）首長が任命する教育長が教育行政を担い，有識者らでつくる教育監査委員会がチェックする，（３）首長が教育行政を担当し，教育監査委員会がチェックする，の３つの改革案が挙げられている。セミナーの席上では，国と市町村の間に都道府県の教育委員会が介在しているため，市町村教育委員会が独自色を打ち出せないのでは，との意見もあった。教育委員制度改革が，これからどのように進展するのかは分からないが，今後の動きに注意していきたい。

・委員の皆様には，洗心小学校在り方検討協議会や保護者会に出席していただき感謝する。１２月議会でも洗心小学校に関する質問があり，「経過を検証し，手順を踏んで適切な時期に教育委員会としての結論を出したいと考えている」と答弁させていただいた。本日の会議においても，洗心小学校の在り方に関する協議が議題となっているが，今後の進め方などについて協議していただければと思う。

４　教育委員報告

委員　１１月２９日に行われた七栄小学校指導室訪問に出席した。子どもたちが生き生きと学習に取り組んでいる様子が随所に見られ，大変うれしく感じた。すずらん学級の子どもたちがパソコン操作に慣れ，クリスマスカードに挿入する文書を自分で考えて入力している様子を見て,「子どもの力は本当にすごい」と感心した。４名の児童の実態に合わせて学

習方法が工夫されており，この学習方法により子どもの興味が増し，できる喜びを実感させることはとても大切であると思った。カードが完成し，プリントアウトされたものを見た時の喜びは大変に大きなものがあり，彼らの自信にもつながるのではないかと思った。今後も，子どもたちの実態に合わせ，より延ばしていくことができるよう，先生方に頑張っていただきたいと思った。その他にもＪＴとＨＲＴの連携による素晴らしい外国語活動や市の栄養士を招いての家庭科の学習など，子どもたちがとても楽しく学習している姿が印象的であった。

委員　１２月１８日に富里中学校で開催された職場体験学習発表会に出席した。１年生と２年生が体育館の２階に集まった発表会では，８ヶ所の事業所について，仕事の内容やよかったこと，反省する点などが工夫して紹介され，素晴らしい内容であった。発表では，事業所の写真や動画などがスクリーンに映し出され，よりわかりやすく紹介されており，発表会に参加した生徒や事業所の担当者,保護者もよく理解できたと思う。体育館内には全事業所の壁新聞が，また，２年生の各教室には個人新聞が掲示され，来年度，職場体験学習をすることになる１年生は，大変参考になるだろうと感じた。担当の先生によれば，福祉関係の事業所を希望する生徒が少ないとのことで，この発表会に参加されていた介護の事業所の方が,「将来，この中の１人でも多くの生徒が，私たちの事業所に勤めてほしい。」と話されていたことが，とても印象的であった。この学習は，生徒が貴重な体験をすることだけではなく，事業所側にとっても自分たちの職場をアピールする場であると思った。

委員長　私も,１１月２９日に行われた七栄小学校指導室訪問に出席した。先に委員から話があった，特別支援学級の児童がクリスマスカードを作成していた授業風景は，大変素晴らしいと思った。どの学年，どのクラスの子どもたちも，皆前向きな学習姿勢で，活発な授業展開であった。先生方のめりはりのある授業が,子どもたちに功を奏していると感じた。また，体育のソフトバレーボールの授業を初めて見せていただいた。ボールがソフトであっても，ラリーを続けていくのは至難の技で，どのように授業を展開していくのか心配であったが，児童一人ひとりがオーバーハンドパスをしており,日頃から指導が行き届いていることを感じた。コートが簡易過ぎて，ジャッジがやりづらいのではと感じたが，次回は試合形式の授業を見たいと思った。

　また，理科の実験がとても楽しそうであったので，少し話をさせていただきたい。授業は熱伝導の学習で，クリームを塗った金属片をアルコールランプで熱していた。子どもたちが,「早くとけすぎてわからない」

と言っていたことが気になったが，こういったことを授業で感じさせることも目的であると思った。

七栄小学校では,学校教育目標の中に,「子ども一人ひとりに目を向け,協働した取り組みを通して助け合い，進んで学ぶ丈夫な子を育てる」ということが掲げられていた。今回，授業を参観して，子どもたちが生き生きと授業を受けている様子を見ることができ,大変よかったと感じた。

5　協議事項

（１）洗心小学校の在り方に関する協議について

学校教育課長　まず，委員にもご出席していただいた，洗心小学校保護者会の会議結果について説明させていただきたい。内容としては，大きく二点あったと思う。一点目は統合に関することで，２１名の出席者のほぼ全員が，統合反対の立場で発言をされていた。「児童数を増やすことで統合を避けたい」という意見をいただき，その手段として，学区を編制する，また，現在も行っている小規模特認校をさらに充実させる，など提案を含めた意見があった。小規模特認校の制度を充実させるために送迎バスの運行，学童保育の活用，そして何よりもＰＲが足りないのでＰＲを充実させる，とのことであった。また，小規模・小人数のよさを生かし，長期欠席や不登校の児童を受け入れる，との意見もあった。

二点目は，耐震に関することで，耐震化等整備計画において，洗心小学校と富里南小学校を入れ替えた経緯や，現在の児童のために，耐震と統合は別に考えるべき，との意見があった。なお，当日の会議録（概要）を配布したので，参考にしていただきたい。

＜質疑等＞

委員長　先日の会議は，報告書ではわからない雰囲気を感じ取りたいこともあり出席した。会議の最後に,「個人的な意見でもよいので，教育委員会としての意見を述べてほしい。」と，ＰＴＡの方から話があった。とにかく答えてほしいという気持ちがあったと思う。教育委員からも一言いただきたいとのことであったので，富里南小学校と洗心小学校の耐震工事を入れ替えた件について，表現は適切ではなかったかもしれないが意見を述べた。会議で,「申し訳ない。」という表現をしたのは，私たちが，中長期的な見解を持たずに入れ替えたことを伝えたかったからである。私たちも洗心小学校のことは常に考えているので，意見があれば述べてほしい。

委員　先日の保護者会に出席し，保護者から大変厳しい意見があった。そこで一番感じたことは，私たちを含めた教育委員会が，もう少し保護者

や地域の方と信頼関係を築くことができていればよかったと思った。当初は，平成２７年度に統廃合というスケジュールも出ていたが，先日の会議に出席して，もう少し時間をかけた方がよいと感じた。また，在り方検討協議会の出席者に話を聞いたが，洗心小学校は地域にとって非常に重要な拠点であるので，在り方検討協議会でも意思決定できるように考えた方がよいと思う。

委員長　前回，在り方検討協議会に出席した際，会議の趣旨が当初と変わってしまったような気がした。私たちの方向が定まらないので，相手にも伝えることができず,時間だけが過ぎてしまった。今回の保護者会で，地域の方が怒りにも似た口調であったのは，こういったことも関係していると思う。先ほど,「もう少し時間をかけた方がよい」との意見があった。あまり時間がない中ではあるが，これから丁寧に対応していきたいと思う。「複式になったら統合やむなし」との考えは基本的に変わらないが，これからどのように進めていくのかは，慎重に考えなくてはいけないと思う。

委員　私は，洗心小学校の統合については，早く結論を出した方がよいと感じていた。しかし，先日の会議に出席し，保護者の率直な意見を聞くと，ここで簡単に結論を出してしまうと，ますます溝は深まり，よい状態で進むことはできず，もっと慎重に進めなければいけないと感じた。保護者からは，小規模特認校を今まで以上にＰＲし，児童数を増加させたり，学童保育施設があれば，区域外の学校に通学する児童も戻ってくるのではないか，という意見が寄せられた。アンケートを実施することは大変であると思うが，一つ一つ足元を固めていく必要があると思う。また，今まで以上に学区に足を運び，進行状況を説明し，地域の方が納得するよう進めた方がよいと思った。学区編制替えの意見もあったが，さらに大きな問題になってしまうと思う。個人的な意見であるが，市全体の学区編制について見直す時期も近づいて来ている気がするので，その辺の準備もしていかなければいけないと思う。学童保育や送迎バスについても，もう少し調査し，私たちの意見を固めていかなければいけないと感じた。

委員　先日の会議に出席して感じたことは，お互いの意見が相反しているということであった。地域の方の考えも理解できるが，もう少し子どもたちのことを考えてほしいと思った。学校は，学習の場はもちろんのこと，共同生活の拠点でもあり，ある程度人数がまとまらないと学べないこともあると思う。人数が１人，２人の学年と，２０人，３０人の学年では，人間形成が変わってくると思う。私としては，地域の方にそうい

ったことを考えてほしいという思いが強い。先日も，小規模特認校のＰＲが不足しているとの意見があったが，それは，教育委員会として率先してできることではないと思う。もっと地域の方も協力してほしいと思う。また，耐震については，現に学校がある以上，進めてほしいということも感じている。そういった状況をお互いに理解し合って進めていかなければいけないし，送迎バスや学区編制についても的確に説明していくことができれば，もう少し理解が得られるのではないかと思う。大変難しく簡単には決めることはできない。時間の猶予がない中でも慎重に対応すべきであると思う。個人的な意見であるが，子どもたちのことを考えるなら，早く結論を出した方がよいと思う。

委員長　私も，一小学校のＰＲを教育委員会が行うことは違うと思う。しかし，小規模特認校の制度の周知が，就学時検診の時では遅いとも感じる。地域の方は，周知方法に物足りなさを感じているので，方法を検討する必要はあると思う。「子どもは地域の学校に通って地域で育てる」ということが大前提で，私はそれが大事なことであると思う。小規模特認校の制度は，児童数を増やす制度ではあるが，それだけではないとも思う。

教育長　先ほど，現に学校がある以上は耐震を進めてほしいということ，また，統廃合については，時間をかけて慎重・丁寧に進めてほしいという意見をいただいたところであるが，耐震化について改めてご意見をいただきたいと思う。

委員長　私は，計画どおり耐震を進めてほしいと思う。

委員　統廃合の時期を早めるなど，いろいろな方法があると思うが，子どもたちが学習している以上は，まずは耐震を進めてほしいと思う。

委員　私も，子どもたちが学習している以上は，大規模改修はともかく，せめて耐震補強だけでも進めてほしいと思う。

委員　予算的な面もあるとは思うが，ＩＳ値が基準を下回っている以上は，耐震を進めてほしいと思う。

教育長　私が，在り方検討協議会と保護者会に参加し，強行的に進めることはできない，と思った。在り方検討協議会や保護者会を何度開催しても，おそらく同じような内容になってしまうと思うので，路線を変更しなければならないと感じている。

委員長　耐震工事を行えば，地元からは存続の要望が出ると思う。仮に，洗心小学校が存続し，小規模特認校を継続しなければ児童数は減少する。私は，それでもよいと思っているし，地域の方々もそれでよいと感じるのではないかと思う。

委員　地域の方々は,「統廃合やむなし」という思いは持っているし，耐震の問題も難しいと感じている。先ほども意見があったように，結論は早く出した方がよいと思うが，地元と教育委員会が分かり合える状況になってから進める方がよいと思う。地域の方々は，会議の場では感情的になっていた面もあったが，ある程度の人数の児童がいなければ学校としては成り立たないと思っている。地元と良好な関係で，子どもたちにとってよい方向に進むことができればよいと思う。

午後２時５７分　休憩
午後３時６分　　開議

（２）富里市就学援助費支給規則の一部を改正する規則の制定について（学校教育課）

学校教育課長　本改正については，用語の整理の他，従来，世帯員ごとの当該年次の合計収入額を認定基準としていたものを,「収入額等に変化が生じているときは，当該年の見込額とする。」旨のただし書きを追加，また，申請にあたり,「被保護者及び被認定児童生徒の保護者の申請については，原則として生活状況調査票の作成は不要とする。」旨のただし書きを追加した。また，生活保護受給者の認定期間について，従前は申請のあった日の属する翌月の初日としていたものを，生活保護の認定日から支給期間とする旨の規定を追加，学用品費・通学用品費について，年度途中から支給を開始する場合は,月割で算定する旨の規定を明文化した。なお,様式についても,簡易に処理することができるよう一部変更した。

＜質疑等＞

委員長　先ほど,「被保護者及び被認定児童生徒の保護者の申請については,原則として生活状況調査票の作成は不要とする。」旨のただし書きを追加したという説明があったが，仮に生活状況がよくなった場合等のチェックはどのように行うのか。

学校教育課長　収入状況については，学校状況調査票でも確認することができる。

委員長　この内容で進めていただきたい。

６　報告事項

委員長　報告事項について，各課等から報告願う。

（１）月例報告（各課等）

教育総務課

・教育長報告でもあったとおり，１２月２０日に議会が終了した。

・１月の教育委員会定例会議は，日程を変更し２９日に開催される。

学校教育課

・１２月１４日に予定されていた学校監査については，事務局の都合で延期となった。改めて日程を調整した上で，実施される予定である。

・１月４日に臨時校長会議が，９日に千葉県教育委員会主催の教育委員会・校長臨時合同会議が，それぞれ開催される。これは，教職員の不祥事に関し，改めて周知を行うものである。

・１月９日と１０日に，人事異動に係る教育長・校長面接が行われ，１６日に人事異動に係る千葉県教育委員会一次面接が行われる。

・１月１５日に，富里南中学校で教頭会議が開催される。

・１月１８日に子ども議会が開催される。

学校給食センター

・１２月１０日に学校給食センター施設統合事業実施設計打合せが行われた。現在の統合整備事業の進捗状況については，用地売買契約と補償契約を締結し，１月中に所有権移転が完了する見込である。

・１２月１９日をもって２学期の給食が終了し，１月８日から３学期の給食が開始となる。

生涯学習課

・１２月２日に第８２回印旛郡市駅伝競走大会が，４日に社会教育委員会議が，１３日に富里スイカロードレース大会実行委員会会議が，それぞれ開催された。

・１月１３日に平成２５年成人式が，１４日に第２６回富里スポーツ少年団駅伝大会が，それぞれ開催される。

図書館

・１２月１日から６日まで雑誌リサイクルが行われた。対象となった雑誌は２，６４６冊で，その内の１，４５５冊がリサイクルされ，２０８名が利用した。

・１２月２２日にふゆのおはなし会が開催され，３３名が参加した。

・１月２２日に朝のおはなし会が根木名小学校で開催される。

・１月３１日に自衛消防訓練が行われる。

７　委員長閉会宣言

委員長　以上で，平成２４年度第１１回富里市教育委員会定例会議を終了する。